

集落の交通手段支援

知事表明 商品の巡回販売も

道議会

高橋はるみ知事は6日の道議会一般質問で、高齢化や過疎化が進む集落対策として2013年度、地域づくり総合交付金を使って、通院などの交通手段確保などの支援策を講じる考えを明らかにした。

具体的には、道が11年度に全179市町村を対象に行った調査で要望が強かった項目を基に、交通手段確保策のほか、生活必需品などを巡回販売する事業者への支援、空き店舗を有効活用する市町村事業への補助を想定。13年度から順次、実施していく。

知事は「13年度から2年間を集落対策の集中対策期間とし、市町村と一体となって促進を図る」と述べた。

自民党・道民会議の三好雅氏（宗谷管内）の質問に答えた。

一般質問ではまた、慢性的な赤字が続く道

立病院の経営再建策として、白川賢一保健福祉部長が13年度から16年度までの4年間で、

医師を9人増員する考えを示した。現在、道立病院に関わる医師は81人で定数の100人を下回っている。

このほか、経営再建中の北海道エアシステム（HAC）の資金繰

りについて、武田準一郎建設部長は「3月も厳しい状況が見込まれ、（金融機関から）再び借り入れる可能性もある」と述べた。HACはすでに1、2月に資金を借り入れ、総額は1億3500万円となっている。

ともに民主党・道民連合の梶谷大志氏（札幌市清田区）の質問。